



見る
聞く 日立市民の
さがす 生涯学習
夢がある

百年塾ひるば

第46号 発行日/1999.12.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾広報部
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

百年塾フェスタ'99「いばらきヤング・子どもフェスティバル」と共催

元気をくれた子どもの笑顔

ありがとう!ビッグハートへ

162,387円

10月23日、24日の2日間、日立新都市広場やシビックセンター、マーブルホールで百年塾フェスタ'99が開催されました。「いばらきヤング・子どもフェスティバル」も同日開催され、多くの子どもたちや若者でにぎわい、今年も中学生や高校生ボランティアがさまざまなコーナーで大活躍しフェスタを盛り上げてくれました。



樫村本部長、橋本県知事、鈴木青少年育成茨城県県会議会会長らも熱心に会場を見学



さわやかな秋晴れに恵まれたフェスタ会場



見事な司会の高校生たち



「百年塾フェスタ'99、いばらきヤング・子どもフェスティバル」は幼稚園鼓笛隊の子どもたちによって元気に華やかにオープン



気分はすっかりハワイアン



たくさんの笑顔に乗せて会場を走る豆電車



手つきもなかなか様になってるね



「おもしろ講座」で人気のわらじづくり



広報コーナーでは広報紙づくりの相談コーナーも設けられました



ワールドビュッフェで世界の味を



フェスタ恒例の体験コーナー



参加企業のテント前の賑わいにPRにも力が入る

まちづくり 市民と企業と行政と

百年塾は7つのテーマの1つに「市民と企業が共生するまち」を掲げて活動してきました。企業都市にふさわしく、地域社会と共生する企業として、積極的な施設開放や市民教授登録、ボランティア活動などを通じて、市民と企業と行政が話し合いながら実践してきました。それぞれのノウハウを生かして進められているまちづくりを取材しました。

塀を利用した ギャラリー好評

油繩子小学校、多賀中学校美術部、日立養護学校、多賀高美術部の生徒や児童が「住んでみたいいなこなまち」をテーマに描いた、畳1枚分の大きな絵13点が、鮎川町の日立化成工業(株)山崎事業所(桜川)の塀に展示されていて、通学、通勤する人や近所の人たちの目を楽しませています。

この事業は同事業所が塀建て替えを機に、この塀を生かして、文教地区にふさわしい「ふれあいギャラリー」的なものがないかと考え、周辺の学校に協力を求めて実現した

もので、企業と学校の連携で明るく楽しい通りになりました。

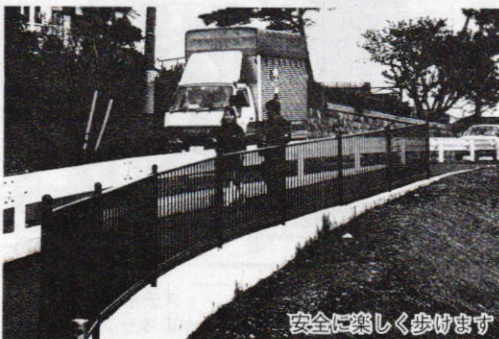
この絵は画用紙に描いた原画をパソコンで拡大し、特殊加工が施されているので4~5年は色あせないそ

うです。「本当に描いてもらえるのか不安でしたが、楽しかったと聞きホッとしています」と、担当された箕川さん。所長の松田さんは積極的な地域との共生を提唱されています。



緑を生かした 歩道整備に一工夫

国分野球場そばの鮎川3丁目の交差点から、多賀駅方面へ向かう道路



に沿ってガードレールの内側(国分グランド側)に歩道が設けられ、多くの人に利用されています。

この道路は朝夕の車の交通量が非常に多いため、付近の小・中・高・養護学校PTAの連名で、通学する児童や生徒の安全確保の対策を、市に要望しました。

それを受けて市の土木課では、日立製作所国分事業所に用地の協力について打診、その結果、無償で借地することができたのです。

学園通りということもあり、そこにあ

地域の人材 学校をサポート

小・中学校や幼稚園での授業をサポートしようと、今年度から百年塾が独自で始めたゲストティーチャーは、11月末日までに86名の市民教授や地域の人が学校支援をしてきました。

特に各学校独自で募集した地域人材の活用が、市民教授活用率を上回りはじめています。

滑川小学校では「ペルーやヨルダンなどの外国紹介」、宮田小や大みか小学校では「戦争の話」など実体験をもつ人、水木小学校の「西金砂神社の大祭り・古墳・水木ささら・イトヨ・ハマギクについての話」などの地域人材が登録されて、それぞれの学校の特色ある授業が進んでいるようです。

ネパールに学校をつくる 募金本格化

識字率が低いネパールの子どもたちに教育を受ける機会を広げるため学校を贈ろうと、百年塾フェスタで「ビックハート」募金を続けてきました。

百年塾10周年を記念し、ネパールのドクン村に300人規模の小・中学校の建設を予定して、2年後の完成を目指しています。校舎の建築にかかる費用は150万円程度。

フェスタでの募金だけでなく、公文教育研究会やシビック科学館などの団体、市内の小中学校児童会(滑川、大沼、油繩子、中小路、助川)や、中学校生徒会(中里、泉が丘、大久保)からも募金が寄せられています。

11月10日現在、1,133,309円。

小平記念館 企業OBが案内役

日立製作所日立事業所が市民の小平記念館見学を受入れ、好評を博しています。これまで担当部門の忙しさなどから、見学を受け入れられないこともありました。百年塾の「net(熟年研究会)メンバーのうち、企業のOBたちが、少しでも役に立てればと、案内役をかって出しました。

同事業所庶務課長の土屋さんは、

市民教授 あの人この人

99.9月~99.11月に登録された方(敬称略)

- 加藤 勝 滑川本町(手打ちそば)
- 江田 博 久慈町(盆栽全般)
- 羽生綾子 千石町(大正琴)
- 菅野愛子 西成沢町(大正琴)
- 堀江千秋 ひたちなか市(テーブルコーディネート)

お問合せは百年塾サロンまでご連絡を! ☎23-9165

「今、まちが沈着化しており、何かできないかと考えていました。日立のまちは日触、日立製作所から発展してきており、その歴史をもっと知っていただければと思います。」と、積極的に見学希望に応じてくれることになったものです。

見学回数もすでに10回を越え、商工会議所主催「記念館とさくらめぐり」を皮切りに、「市内小学生の社会科の学習」など、数百人へのほる市民の見学者が訪れ、企業がより身近になったと感じ、確かな感動を得ています。

社会参加の意義を 体験から考える

11月20日シビックセンター・マーブルホールにおいて、働く人たちの社会参加を考えるつどいとして、フォーラム「自分の生きがいを求めて」が開催されました。

発表者は田尻学区市民運動を進める会事務局長の大森健一さん、百年塾の働く女性によるワーキングチームで活動中の岸律子さん、けやき荘でボランティアを続けている長野正文さんの現役企業人の3名。

森秀男さんの司会で、それぞれが考える社会参加の意義、問題点やその解決方法などが、体験をもとに話されました。

参加者は約60名、地域の活動者も多く、リーダー論まで飛び出しました。また、活動する人をふやし、活気ある街づくりをすすめる上でも有意義なフォーラムだったという感想が聞かれました。



った街路樹をそのまま生かして、遊歩道のような歩道整備が、事業所の敷地内に実現しました。

おしゃべりをしながら楽しそうに駅へ向かう学生の姿が印象的でした。

企業と街がより近くなり、街の活性化につながってゆくことを期待するものです。



1999年~2000年に向けたビックイベント!! カウントダウン2000

●1999.12.31

- こんなコーナー
- ・カウントダウン新年イベント 特設スクリーンで23:45~
- ・クラブ2000
- ・マーブルホールがディスコに
- ・光のステージ
- ・真夜中、花火に夢と希望を託す
- ・カウントダウンボード
- 2000年まであと〇〇日!

●新都市市場・マーブルホール

- 募集
- ・ステージショー2000
- ・ステージに立ちたい人
- ・ミレニアムから新世紀へ
- 友人、恋人、家族への手紙
- ・2000の夢と願い
- 市民が夢と希望を描いた2000枚の絵馬
- 主催 カウントダウン2000実行委員会
- 問合せ 日立市青少年課 Tel 35-1466